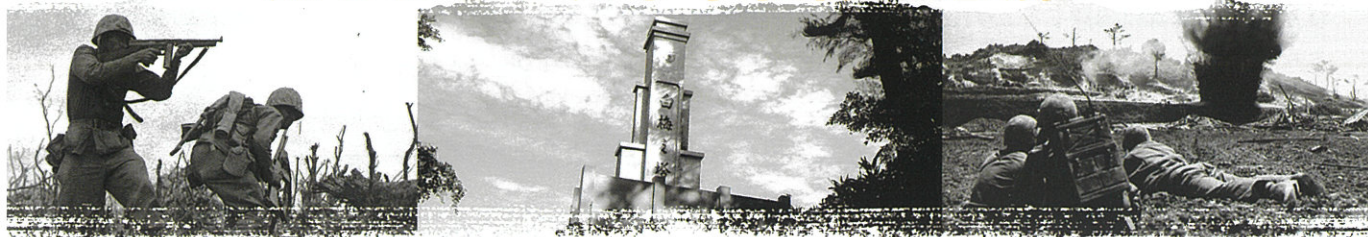




知られざる女子学徒隊の悲劇。



沖縄復帰50年記念作品

ドキュメンタリーと再現ドラマで描く!

乙女たちの沖縄戦

～白梅学徒の記録～



ドキュメンタリーパート

証言者／中山きく 武村 豊 當山富士子 大宣味ハル子 我喜屋敏子 大城千代子 翁長健治 山内平三郎 聞き手／森田朋依

構成・監督：太田隆文

撮影・録音：有国 浩 編集：太田隆文 コーディネーター：沖縄応援チームU

再現ドラマパート

實川 結 森田朋依 實川加賀美 永井ゆみ 城之内正明 響 一真 加藤亮佑 冴羽 一 海老沢貴志

藤 真由美 布施 博

監督：松村克弥 脚本：太田隆文

撮影：はやしまこと(j.s.c) 照明：濱本修二 録音：小畑智寛 美術：安藤 篤 装飾：富山和久 編集：松村克弥 ヘアメイク：小川千尋 キャスティング：小森清一

衣装・着付：鈴木典子 プロデューサー：亀 和夫 城之内景子

製作：Kムーブ 制作協力：サクラプロジェクト 青空映画舎 配給：渋谷プロダクション 2022/STEREO/JAPAN/DCP/108min

AFF
ARTS for the Future



ドキュメンタリーと再現ドラマで描く、 少女たちの戦争悲劇！

映画「ひめゆりの塔」は繰り返しリメイクされる反戦映画の名作。

10代の少女たちで編成された女子学徒の悲劇である。だが、沖縄戦で動員されたのは、ひめゆり学徒だけではない。沖縄県立第二高等女学校の4年生56名の生徒から編成された白梅学徒もその1つ。たった18日間の看護教育を受けただけで

八重瀬岳にある第一野戦病院に配属。兵士の治療にあたった。

負傷した日本兵が次々に運び込まれて、ベッドが足りなくなる。多くの兵士は床や通路に寝かされ、負傷兵は治療するよりも、腕や足をノコギリで切り落とすしかないことが多かった。そんな手術の手伝いをしたのが、つい先日まで青春を謳歌していた10代の女子である白梅学徒である。兵士の傷口に湧いたウジを取る。スポンに溜まった何日分もの糞尿の処理。やがて病院壕にも米軍が迫り、歩けない兵士たちを医師たちが薬で毒殺。学徒たちも米軍の攻撃にさらされて命を散らして行く。

ドキュメンタリーパート＝約90分。ドラマパート＝約30分の構成。

沖縄復帰50年を記念して今夏に劇場公開。



■ドキュメンタリーパート

今もご健在で、取材が可能な白梅学徒はもう数人だけ。90代の中山きくさんと、武村豊さん。そして関係者たちが当時の状況を詳しく語る。ウクライナ×ロシアの戦闘が報じられる今、より多くの人が実感できるだろう。『ドキュメンタリー沖縄戦～知られざる悲しみの記憶～』原発事故の悲劇を描いた劇映画『朝日のあたる家』（山本太郎出演）の太田隆文が監督。



■ドラマパート

ドキュメンタリーパートの証言をもとにドラマ部分を制作。若き女優たちが白梅学徒を熱演。ドラマ『北の国から』『昨日、悲別で』の布施博が感動の演技を見せる。沖縄戦とは何であったか？多くの日本人が知らない白梅学徒という存在。そして戦争の悲しさを伝える。『桜花 桜花最期の特攻』『祈り～幻に長崎を想う刻(とき)』（高島礼子・黒谷友香主演）など戦争悲劇を描き続ける松村克哉が監督。



8月2日(火)～7日(日)ロードショー

連日15:30～から上映。同期間において映画「ドキュメンタリー沖縄戦」を13:00～上映。
初日舞台挨拶を予定。詳細は劇場HPをご確認ください。

JR恵比寿駅東口より徒歩約7分
東京都写真美術館ホール
TEL. 03-3280-0099
www.topmuseum.jp